**Mayaの学校で授業参観と先生方との懇談**

**2,009年10月７日(水)**

一日大雨、ネパールガンジに出発の予定だったが、待機、

　サンタは早朝に帰郷、後のメンバーはほとんど待機、

　アムリタのグループからそばをごちそうになりながら、結婚のことについて話を聞いた。夫はラミラの知人で、バジャーンで学校の先生をしている。カーストの問題があり、苦労している。バケーションの時は逢うことができる。とのことであった。

　サララとは、支援の詳細について話す。設計図が出来上がっていて、見せてもらう。

　すでに机と椅子は入れたとのことであった。

　また、サララの同年生が1年生に入学して来たとのこと。

　創立当時に戻ったように、夕食後踊ったり歌ったりと楽しく過ごす。

**2,009年10月８日(木)**

一日前、ネパールガンジに偵察に行ってくれた、クリシュナさんより、電話が入る。

　飛行機はもちろん飛ばない。道路がかなり酷く、車をチャーターして来ることを勧められた。ラミラ、リトウ、ウルミラ、ラルマヤ、マヤ、パンファーも同じ方向なので同乗することにした。途中4回ほど休憩を入れて、12時間かかって、ネパールガンジに到着した。

　ラミラとリトウ以外は車酔いが酷い。特にマヤは12時間苦しみ通し、ほとんど吐いてばかりで気の毒であった。

　ホテルハムロカルナリは彼女たちの常宿のようだ。皆顔なじみで、安心。

**2,009年10月９日(金)**

　5時フライト予定、ネパールガンジ飛行場に向かう。ラルミラ、ラミラ、パンファー

　荷物を運んでくれた。しかし、キャンセル、12日まで待つことになった。

　ホテルで、クリシュナさんに研修会の翻訳をお願いすることにした。

**2,009年10月10日(土)**

アンケートの翻訳**別紙８**とラミラ、ラルミラ、パンファー、マヤと懇談の時間がとれた。

　彼女たちの村では、お米があまりとれない。マヤの村には、ダサインの前に、国の食料庁より、1週間に1家族に２KGの配給がある。飛行機で運ばれてくる。行列を作ってもらう。ずる混みをした者が半殺しにあってことがある。パンファーのところでは、1ｋｇのお米が80Ｒｓもする

**2,009年10月11日(日)**

　翻訳作業

　ホテルの嫁たちは暇無く働く、男たちは屋上でトランプに興じる。

**2,009年10月12日(月)**

13:00　Nepalgunj～Koliti にやっと飛行機が飛んだ。Maya初めての飛行機、バスよりは快適のもよう。13:45で到着。Mayaの親戚の人がいて、ポーターを頼んでくれた。

陽がくれ、懐中電灯を頼りに山道を上り、非常にきつい登山であった。

３軒目でやって宿泊の許可。夫は出稼ぎでいない。２ヶ月の赤ちゃんを世話しながら、私たちの夕飯を作ってくれた。日本流のカレーライス、ポーターがなたで切り取ってくれた

大根のおいしいこと。夜は非常に冷えた。明朝は雪でも降りそうな冷えようであった。2時から眠れず、とうとう風邪を引いてしまった。宿泊地（　　　　　　）

**2,009年10月13日(月)**

　早朝7時に出発、Mayaの村へと急ぐ、途中の休憩所では、稗ナン、ゆでジャガイモ、

炭火焼きのトウモロコシ、薬草入りの紅茶、山羊乳と多彩、体力勝負なので何でもおいしく食べた。

　Mayaの姉妹　Tulsi16才,Sita15才,Ganga13才が途中まで迎えに来てくれた。感動！！

　夕刻5時頃やっとJyumura に到着、Mayaの家の前のホテルBadi Malika Rana Hotelに落ち着く。

夕食をMayaの家でごちそうになる。7人の家族と団らん。

**2,009年10月14日(月)**

**Mayaの学校で授業参観と先生方との懇談**

**学校名**　　Choyakot Lower Secondary School

**住所･地区**Jugada VDC Rajali)

**学校規模**　1-12年生

**学校設備**　職員室、図書室、理科室、男女別トイレ、水道、電気、時計（office）

 電話(office) 　机は1-5までは無い、椅子のみ。

**子ども数**　1400人（6時から10時までと、11時から17時までの２部制）６年生10８人

　　　　　2クラス

25人は小学部１年で退学、

**教員数**　　小学部のみ　　　女性　5人、　男性6人　　合計11人

**教員の資格**　　10+2卒業　女子5人、男子5人　　SLC合格　男子1名

**年齢**　　40代　男1人、女1人。30代　男2人、女3人。　20代　男1人、女1人。

**給与**　　9900Rs＋1200Rs＋2450Rs　　　2年目の教員　8000Rs

　　　　Maya以外は全員政府から支給を受けている。

**Shankar Bohara(1-8 nepali,social　35才)　Nara Bok(1-7nepali,social,heaith30才)**

**Mana Fhopa(Maths,social 38才）対談**

※Drop outは　親同士の競争があり比較的少ない。しかし、1年生のdrop outは解決が難しい。

　※学齢前の子どもも学校に来る。

　※SLC合格のための特別授業を実施

　※Mayaは努力家だから、テストの機会があればpermament teacher　になれるはず。

　※JNFEAからの支援を3年後も継続してほしい。行政からの教育予算が人口比率で100万Rsから200万Rs支給があるが、給与には回す余裕がない。

　※子どもの人権で、宿題忘れの指導など、困難である。

　※Mayaはとても頑張っている。

　※ある親が我が子をよく教えてくれありがたいといって、野菜を持ってきてくれた。

多くの子や村人が　Maya先生の周りに集まってくる。（May母親談）

**Shuva Raj Upadhyay氏対談**（Maya　の学校長）・・2009年10月20日　KTMにて

　※Maya は大変まじめで、ごまかしがない。

　※３年後、現校長がいる間は，理事会と相談して，継続して雇用したい。

　※現在、中学校の先生が３人不足している。

　※小学生が現在増えている。

　※研修の機会を出来るだけ与える。（DEOより指名がある場合は出来ないが）

　※以前の教員の教育方法について、批判的な態度を取り、トラブルがあった。よく相談をして、行動するように指導をした。その後、相談する姿勢が見えてきた。

　※ポカラで２年間勉強して，すごい先生になってきている。自分の家の娘もそこに入れたいと村人の羨望の的となっている。

　※他の教員が病気の時に，代替の授業を実施したところ、Maya先生の方がいいと、子どもたちからも人気がある。

　※JNFEAの指導と、赴任先の訪問に対して感謝する。

　※施設設備が不十分なので、ボーディングスクールに５年生が126人行っている。

　　しかし、教育的に質が良くないので、２-３年で、公立の学校に戻ってくるケースが多い。

　※教室が不足しているので、二部制の学校経営である。国からの支援が期待できない

ので、他の支援を期待する。

**Maya授業参観**

1 period は2年ネパール語の授業　（男子7人、女子10人）

　声が大きく、楽しそうな授業風景

　先生の読みを反復させる一斉授業形式

　教科書を持参しない子どもがいる。

　椅子はあるが机は無い。

２periodは4-6年生英語の授業　（男子13人、女子8人）

　　The largest living bird の学習

　　ノートの無い子どもがいる。

　　教室がとても暗い

　　丁寧な個別指導が見られた。

３periodは岩谷が算数の授業を実施

　　プレゼントの鉛筆で十進法の数え方の勉強。

　　　10ずつ束ねる大切さと便利さについて触れる。

　　　１０の補数について学習

　　　発展的ゲームとして3枚カードで、10になるようにするトランプゲーム

　　　数人ずつ、グループで校庭で行う。

　　　算数の先生Mana Fhopaも一緒に取り組む

**2,009年10月15日(火)**

銀行へのヘリコプターを待つが来ない。確認したら、ﾄﾞｰティーの病人対応で、バジュ

ラは通過。

　　　バジュラの中心地なので、関係機関が集中している。郵便局、刑務所、銀行、食料配給所、病院、動物病院、薬局、プライベートスクールも多い。

往復1時間かけて、テンプルを見学、要所が一望できた。刑務所には、現在40人が入所し

ているとか・・・

　Mayaの女友達と日本の少子化とネパールの子だくさんのこと、結婚観の違い等話す。

　　子どもたちとのトランプゲームの復習？をして遊ぶ。

**2,009年10月16日(火)**

8時の段階で、ヘリコプターは飛ばないことが判明、（チャーターだと1時間1900＄

KTMにしか無く、2.5時間フライトで470000円以上経費がかかる）

3日間の山道を下山することを決意し、Mayaの教え子にポーターを依頼して、9時出発

多くの村人が送ってくれた。

18時バルジャガルに到着、Koliti　からの道よりは多少楽であったが、渡渉が数回、

とうとう、ズボンがびしょ濡れになる。とたん屋根の多い村で宿泊。ポーターが宿舎を

　　案内してくれた。トイレが無い。

**2,009年10月17日(水)**

早朝7時出発。下山。ドライブインならずウオークインでは、チベット茶、レモンなど様々な味を楽しむ。途中豪雨の爪痕の崖崩れが随所にある。かなり歩行の妨害となる。水道管の運搬者と多く出会う。角材を山の高低をうまく活用して切断する風景珍しい。多くの子どもはパンツもはかず、裸足で遊んでいる。珍しい外国人の私を食い入るように見る。

　Dhangadhi に向かう高速バス乗り場に到着したのは、16時、休憩時間を入れて9時間。18時出発の夜行バスまで一息いれる。ポーターのガンガとここで別れる。地元の人はジュムラからダンガディーまで13時間で歩くそうな。私は2日間かかった。